

精神障害がある方の地域生活を支援する絆の会

# ハートシター

第 123 号  
2024 年 1 月 9 日  
発行: 社会福祉法人 絆の会  
発行責任者: 土井 まゆみ  
事務局所在地:  
長野市若里 3-14-23  
TEL 026-226-6045  
FAX 026-262-1262  
houjin@kizuna-nagano.or.jp  
http://www.kizuna-nagano.or.jp/



社会福祉法人絆の会

検索

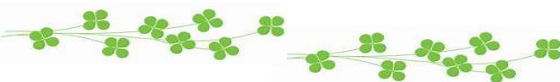
2Pからの内容

- ・4本柱 2024年の抱負「メンバー・家族・ボランティア・職員」
- ・グループホームの行事「クレール篠ノ井・リアン松岡・セルフイー平林・みらいコーポ稲葉」
- 3P ・家族会交流会
- ・ボランティア交流会
- ・絆の会 全体研修
- 4P ・きょうされん第 47 次国会請願署名・募金運動全国キャンペーン
- ・自動麺切りカッターが導入されました
- ・絆のお楽しみ袋
- ・メンバーの活躍あれこれ
- ・インフォメーション

謹賀新年

今年もどうぞよろしく願いたします

## K 先生のこと



絆の会理事長 土井まゆみ

新年を迎え、人との繋がりについて考えた。

昨年 11 月、A さんはその額を観るや目を輝かせ「ああこれ。僕これ、写真にとって持っています。以前 K 先生のお宅にお邪魔した時・・・」話が止まらない。「本当に？僕がもらってもいいんですか？」何度も聞き返す彼の言葉を聞いて、「よかった」と嬉しさがこみ上げた。

今から 17 年前、造園事業立ち上げに際し、人づてに聞いて園芸店をお訪ねした。「ああ、会長なら奥の離れにいますよ」古い家屋をアトリエにして、会長と呼ばれるその方は油絵のキャンパスに向かっておられた。コンタクトも取らずいきなり飛び込んできた私を迎え入れ、何の用かと真剣な眼差しを向けてくださった。「あのう、実は私は障害のある人の作業所で働いております。手に技術をつけてその人ならではの生きがいのある仕事、お金になる仕事はないかと思っておりましたら庭木の手入れの仕事をしたいという利用者がおられ、それを作業種目にできないかと・・・」15 分ほどのやり取りの後、「いいでしょう。教えてあげます。私は教える資格も経験も持っていますよ」「ええ？本当ですか」こうして造園事業の講習会が始まり他に樹木医、ガーデニング等 8 名の方が技術と知識をご教授くださった。K 先生は講習期間 2 カ月が終わっても、毎年特別講習会の講師を担ってくださった。松等の剪定技術、ひもの結び方、雪つり作業や日本庭園の見学、利用者はひきつけられて生き生きと学び習得していく。2015 年に 84 歳で亡くなる前年まで教え続けてくださった。

この歌は K 先生が障害のある方々と出会ったことを嬉しく捉えていてくださったことが窺え、読むと温かい気持ちになる。長らく皆神ハウスに飾られていたが皆神ハウスの引っ越し時に K 先生を知る人も少なくなってきたことから落ち着き先を考えることになった。今は他法人グループホームの住人となられた A さんへのお餞別としてこの額を届けよう。K 先生に初年度から育てられ、剪定を任されるまでになった A さんならこの額を持つに相応しい。「私たちも K 先生の額とともに見守り続けていますよ」の思いを込めて。

2024 年本年も、事業の形や、携わる人は変わっても、言葉や眼差しを心を込めて投げかける人、それを受け取り期待に応えようとする人、人と人とが温かく繋がる日常の連続であって欲しい。と願わずにはられない。



平成 18 年度 NHK 全国短歌大会入選

この度の令和 6 年能登半島地震により、犠牲となられた方々の御冥福をお祈りするとともに、被災された全ての皆様に心よりお見舞いを申し上げます。